

3月沿岸定線栄養塩測定結果

平成30年3月22日
岩手県水産技術センター
TEL0193-26-7919

1. 表面分布 (図1)

本県沿岸10海里以内の栄養塩 (NO₂₊₃-N) の表面分布は105から187 μg/Lであった。

なお、採水は漁業指導調査船岩手丸により、0、10、30、50海里地点で3月12日から3月14日に行った。

2. 10m以深の分布 (図2、図3、図4)

本県沿岸10海里以内では、黒埼定線で120から168 μg/L、トドヶ埼定線で156から179 μg/L、尾埼定線で157から182 μg/L、椿島定線で106から143 μg/Lの範囲であった。

2018/3 0 m

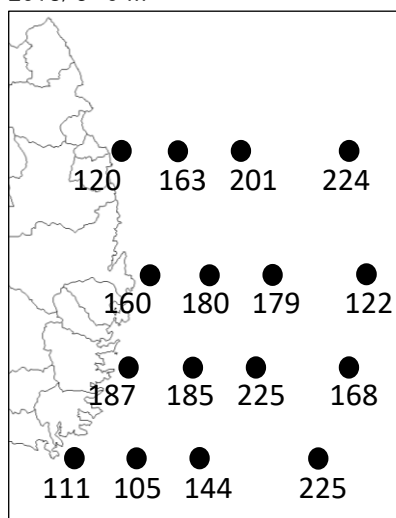


図1 表面の分布

2018/3 10 m

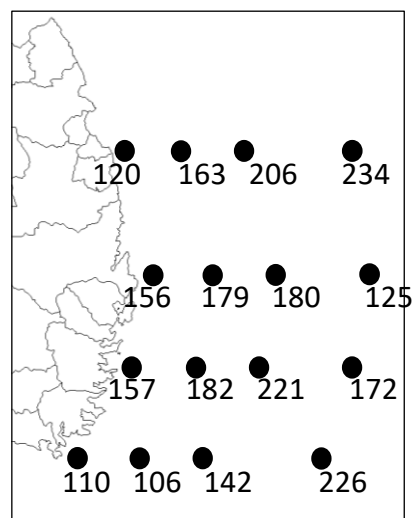


図2 10m深の分布

2018/3 30 m

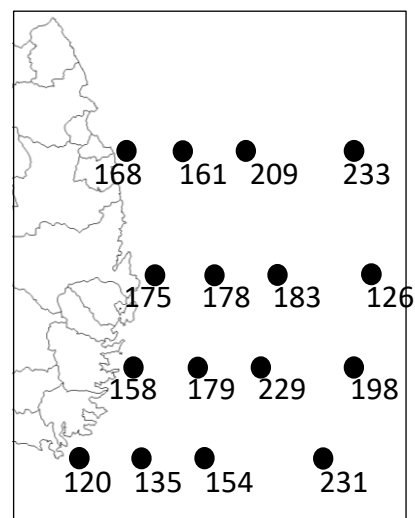


図3 30m深の分布

2018/3 50 m

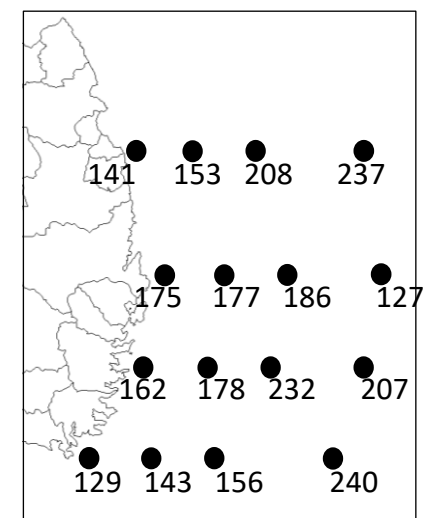


図4 50m深の分布

※背景地図にはCraft MAPを使用 (<http://www.craftmap.box-i.net/>)

【参考】

- ・ 栄養塩 (硝酸+亜硝酸態窒素NO₂₊₃-N) の単位は μg/Lで表す。
 - ・ 10 μg/L以下でワカメの原藻加工後の色落ちの危険がある。
 - ・ 20 μg/Lを一応の安全な目安としているが、20~30 μg/Lでも晴天の日が続いたり、海水交換の悪い時は、ワカメの色落ちが起こる場合がある。
- ※農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」による。